

グローエジャパン株式会社

本社 〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センタービル
TEL 03-3298-9683 FAX 03-3767-3811
大阪営業所 〒550-0014 大阪市西区北堀江1-5-2 四ツ橋新興産ビル
TEL 06-6533-3015 FAX 06-6533-3460

GROHEJAPAN ホームページ
<http://www.grohe.co.jp>

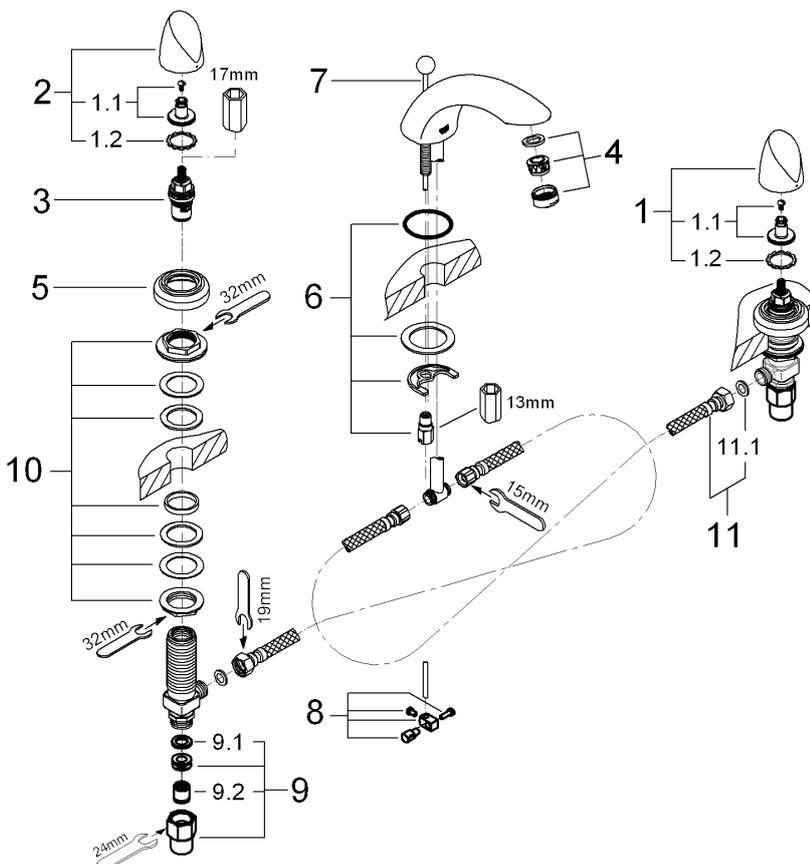
3穴洗面混合栓据付説明書 (お客様にお渡しください)

機種名	一般地用品番	寒冷地用品番
アリュール	2014300J	
アトリオ	2000800J	
アトリオ	2000800J+45609000	
アトリオ	JP221900	
ケンジントン	2012400J+18086VP0	
ケンジントン	2012400J+18087000	
シンフォニア	2001400J	
シンフォニア	200141GJ	
シンフォニア	JP526300	
シンフォニア	2001500J	
シンフォニア	200151GJ	
アリア	2014700J	
アラベスク	2070100J	
アラベスク	20704000	
アラベスク	JP527100	

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

分解図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



図番	名称
1	ハンドルセット
1.1	インサートセット
1.2	カラー
2	ハンドルセット (湯側)
3	セラミックヘッドパーツ
4	エアレーター
5	化粧プレート
6	吐水口締付セット
7	引棒
8	ジョイントピース
9	逆止弁アダプター
9.1	1/2 パッキン
9.2	逆止弁φ15
10	バルブ締付セット
11	接続ホース
11.1	3/8 パッキン

※図は2014700Jです。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.05Mpa [0.5kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。

給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.05Mpa [0.5kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されて降ります。

レバー、ハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度（60℃）設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C m²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

● 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

● 給湯に蒸気を使用しないでください。

● 水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

● 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

● 給水は上水道に接続してください。

※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

● 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

● 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。

● 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

● 配管接続部を隠ぺいしないでください。水切棚に取り付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

● 給水・給湯管緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

図 25

1. 接続部の水漏れ (図 20 参照)

吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検します。

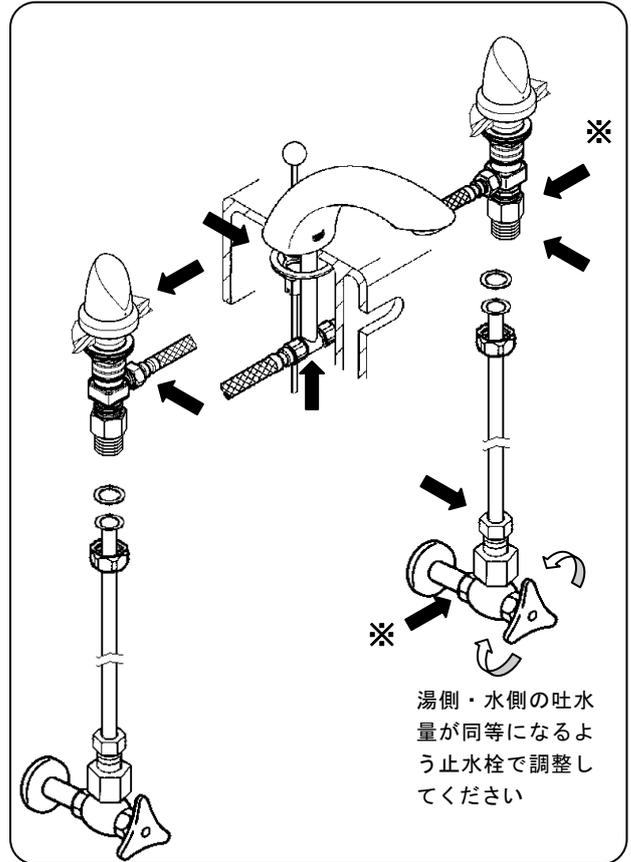
- 止水栓とアダプターの接続部。
- アダプターと接続パイプの接続部。
- 接続パイプと逆止弁の接続部
- 逆止弁とバルブ給水・湯給口の接続部
- バルブとハンドルの接続部。
- バルブ出口と接続ホースの接続部。
- 接続ホースと吐水口パイプの接続部。
- 吐水口パイプと吐水口の接続部。

※特に、この部分は通水後漏水のない事を必ず確認し、万が一漏水が確認された場合パッキンを新品に取り替えた上、再度規定のトルクで締付を行ってください。

2. 水量・湯温の調節 (図 20 参照)

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節してください。

※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。



故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

ハンドル
5. きちんと取り付けられているか?

止ビス
4. きちんと取り付けられているか?

ヘッドパーツ
3. 破損・ゴミかみはないか?

接続ホース
9. きちんと施工されているか?

逆止弁
7. 破損・ゴミかみはないか?

止水栓
1. 全開されているか?
圧力は十分か?

水漏れ防止パッキン
6. きちんと取り付けられているか?

ジョイントピース
8. 十分に締め付けてあるか?

泡沫器
2. ゴミづまりはないか?
※新品時はシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく洗い流してください。
清掃方法についてはお客様用取扱説明書をご参照ください。

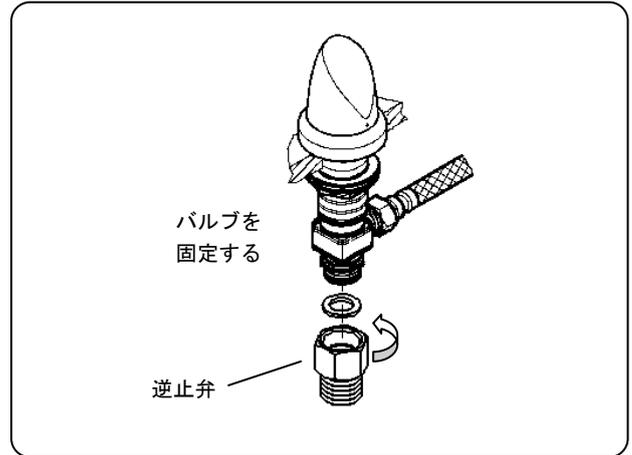
現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2. 7
水が止まらない	3
温度不良	1. 3. 7
ハンドルがガタつく	4. 5
カウンター内に漏水する	6. 9
洗面器の排水栓が動かない	8



7. 逆止弁の取り付け (図 22 参照)

- ①バルブ下の給水・給湯口に逆止弁をねじ込みます。
- ②バルブを工具 (27mmスパナ) 等で固定し、逆止弁を工具 (24mmスパナ) 等で完全に締め付けてください
※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

図 22

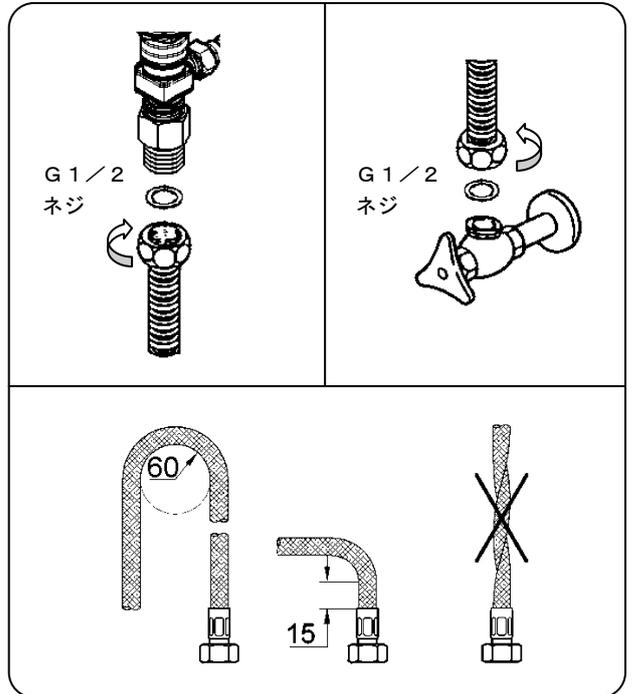


市販のフレキチューブ

8. 給水管の取り付け (図 23 参照)

- ①市販のフレキチューブの袋ナットを逆止弁にねじ込み、確実に固定してください。
- ②もう一方の袋ナットを止水栓にねじ込み、確実に接続してください。
※フレキチューブがねじれないように配管してください。ねじれて配管されますと、加圧した際ホースを取り付けたナットの緩みの原因になります。
※曲げ半径 (60mm) よりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあります、折れた部分から早期破壊を生じる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径 (60mm) よりも小さく曲げないように、ご注意ください。
※接続の端面から極端にフレキチューブを屈曲して、施工しないでください。
※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

図 23

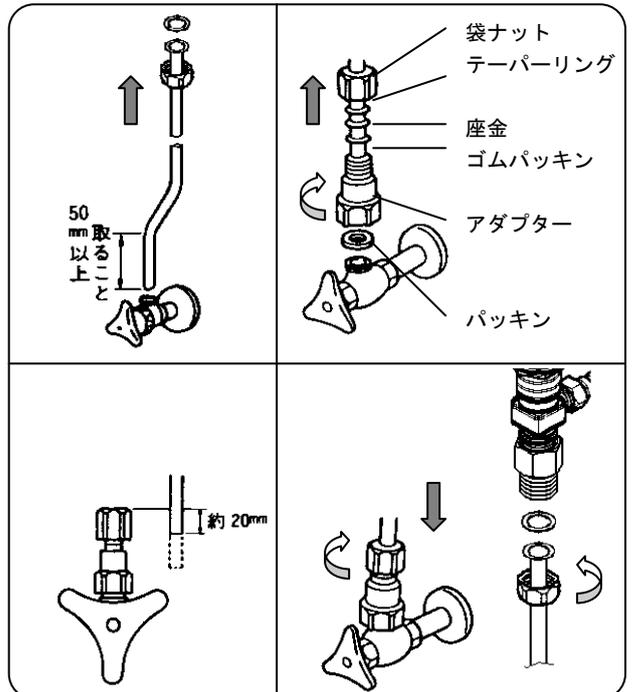


別売の 12803000、12901000、12042000

9. 給水管、アダプターの接続 (図 24 参照)

- ①別売の接続パイプ (12803000) に別売の接続ナット (12901000) のねじが上向きになるよう差し込んでください。
- ②接続パイプを図の通り、止水栓の取り出し芯に合うように曲げてください。
※止水栓より 50mm 以内では、パイプを曲げないでください。
※パイプはなるべくゆるやかに曲げ、垂直部分が長くなるようにしてください。
※パイプがつぶれないように注意してください。
- ③止水栓に別売の接続アダプター (12042000) を仮固定した後、給水・給湯パイプの差込代 20mm を確保し、余った部分をパイプカッター等で切断してください。またバリが出来た場合は必ず取り除いてください。
- ④給水パイプに袋ナット、テーパリング、座金、ゴムパッキンの順に入れて、逆止弁に差し込んでください。
- ⑤仮固定しておいたアダプターを止水栓にねじ込み、確実に固定してください。
- ⑥接続ナットにパッキンを差し込んで、本体の接続ネジにねじ込み、確実に固定してください。
- ⑦最後に、給水パイプを逆止弁にしっかり差し込み、スパナ等で完全に締め付けてください。
※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

図 24



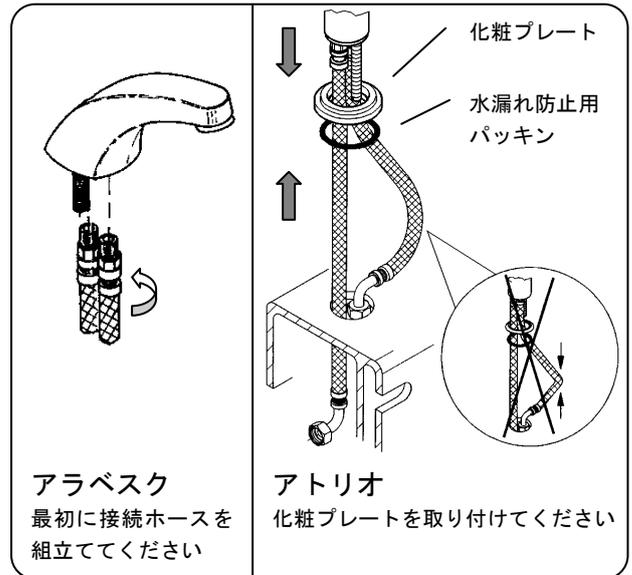
据付手順

アトリオ、アリア、アラベスク、シンフォニア

1. 吐水口の準備 (図1参照)

- ①アラベスクは吐水口に接続ホースを工具(11mmスパナ)等で右回しにねじ込んで締め付けてください。
- ②アトリオは化粧プレートを取り付けてください。
※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

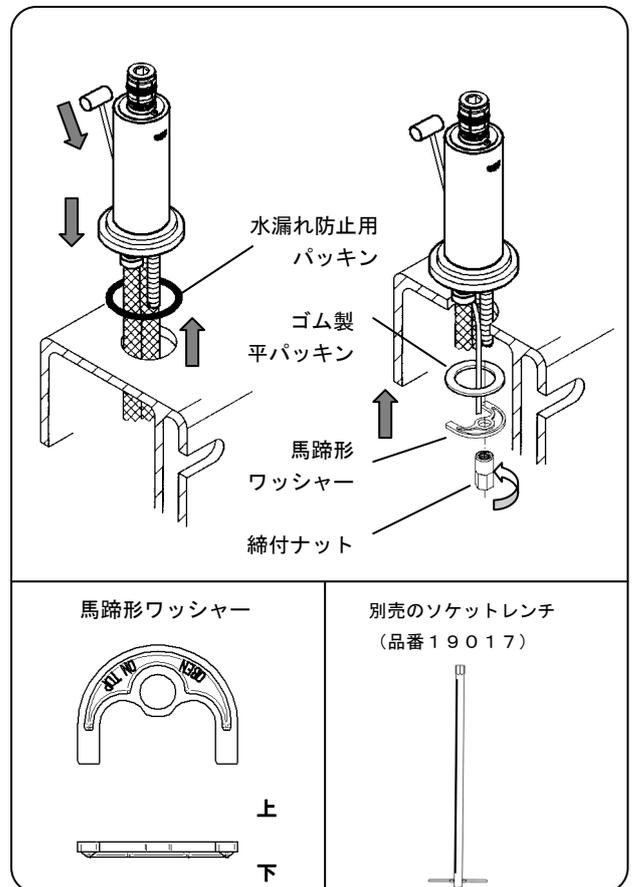
図1



2. 吐水口の固定 (図2参照)

- ①吐水口付属部品を収納している小袋から、水漏れ防止用パッキンを取り出し、吐水口に取り付けてください。
- ②アトリオの引棒は吐水口後側の穴に予め差し込んでください。
- ③吐水口をカウンター上部から取り付け穴に挿入します。吐水口が正面に向くように図の通りセットしカウンターうらからゴム製平パッキン、馬蹄形ワッシャーを挿入し、締付ナットで締め付けてください。
※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。
※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
※ゴム製平パッキンと馬蹄形ワッシャーがきちんと重なっていること。吐水口を固定する際、取り付け穴が吐水口の中心にくるように取り付けてください。
※吐水口が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。
※馬蹄形ワッシャーには上下があります。縁どりにある平らな面が上になります。
※固定には別売(市販品)のソケットレンチ等を使用して確実に締め付けてください。

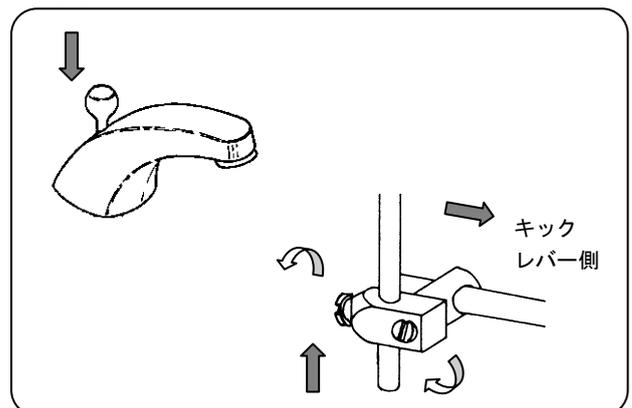
図2



3. 引棒の取り付け (図3参照)

- アトリオの引棒は予め吐水口取り付け時に、吐水口に差し込んでください。また接続ホース、締付セットに接触していないことを確認してください。
- ①梱包箱の中からジョイントピースを取り出し、カウンターの下部で引棒に差し込んでください。
 - ②別売の排水金具のキックレバーにジョイントピースを差し込み、固定ビスで締め付けてください。
※引棒とキックレバーとの接続は、垂直にクロスしている部分で行ってください。引棒を曲げて接続しますと、操作が重くなり。
※緩まないよう、確実に締め付けてください。

図3



アリア、アラベスク、シンフォニア

4. バルブの取り付け (図4参照)

- ①バルブに付属している上側の締付ナット、スリップワッシャー、ゴム製平パッキンを取り外してください。バルブの締付ナットを下向きに最大緩め、カウンター下部から挿入してください。
- ②上側のゴム製平パッキン、スリップワッシャーを挿入し、締付ナットで挟み込み。ハンドル装着代 (表1) をとり、尚且つ出口の向きが施工しやすい位置で上下の締付ナットを工具 (32mmスパナ) 等で締め付けてください。
- ③バルブのスピンドルにインサート (機種によって組み込んであります) を差し込み、ビスで固定しインサートを手で回し閉栓の状態にしてください。アラベスクはインサートが付属していません。
- ④化粧フランジを手でカウンター上からバルブにねじ込んでください。
- ⑤ハンドルはインサートの爪が折れないよう注意しながら真っ直ぐに、確実に、はめ込んでください。
- ⑥アラベスクはハンドルにビスを工具 (ドライバー) 等で右回しにねじ込んで締め付けてください。
- ⑦アラベスクはキャップを手もしくはプライヤーで右回しにねじ込んでください。
 ※バルブが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直して下さい。
 ※固定には別売 (市販品) の垂直スパナ等を使用して確実に締め付けてください。
 ※アラベスクのマークは、一度取り外し「Hot」「Cold」の向きが見やすい位置に取付けてください

表1	装着代	インサート付
アリア	48mm±0.5	56mm±0.5
アラベスク	44~46mm	
シンフォニア	46mm±0.5	

5. 吐水口とバルブの接続 (図5参照)

アラベスク、シンフォニア

- ①エルボは回転しますので、接続ホースがよじれやつぶれる前に、エルボの穴にドライバー等を差し込み、手でしっかり持って、向きを調整してください。
- ②接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んでください。
- ③バルブ横の出口に接続ホース袋ナットをねじ込み、エルボ部分を下向きして工具 (19mmスパナ) 等で完全に締め付けてください。
 ※接続ホースには湯水の区別はありませんので、よじれやつぶれがでないバルブ側に接続してください。
 ※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
 ※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

アリア

- ①バルブ横の出口に接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んで、工具 (19mmスパナ) 等で完全に締め付けてください。
- ②吐水口下部の入口に接続ホース袋ナットを工具 (15mmスパナ) 等で完全に締め付けてください。
 ※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
 ※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

図4

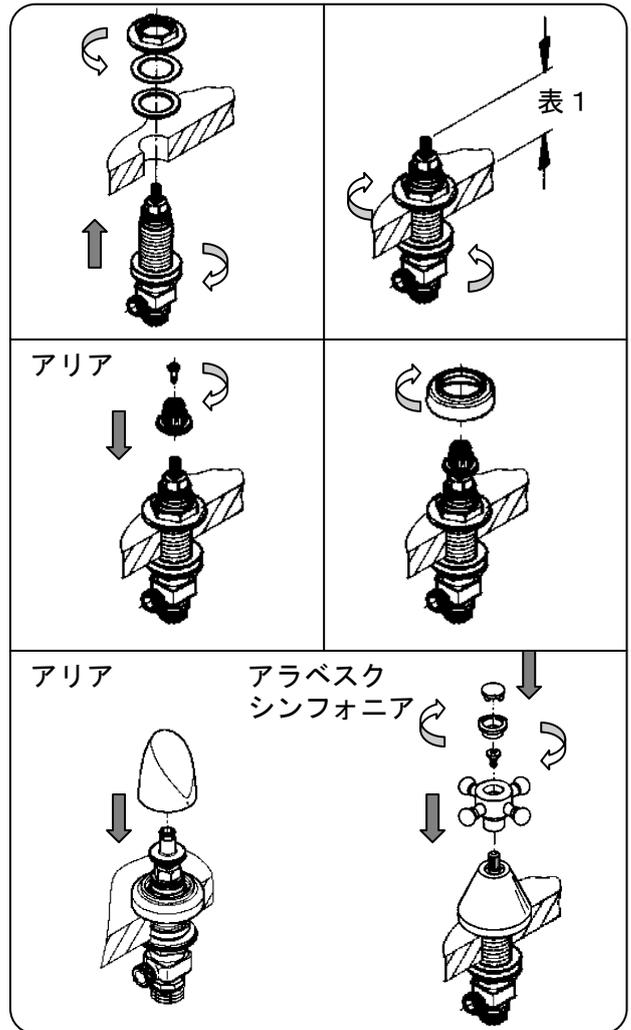
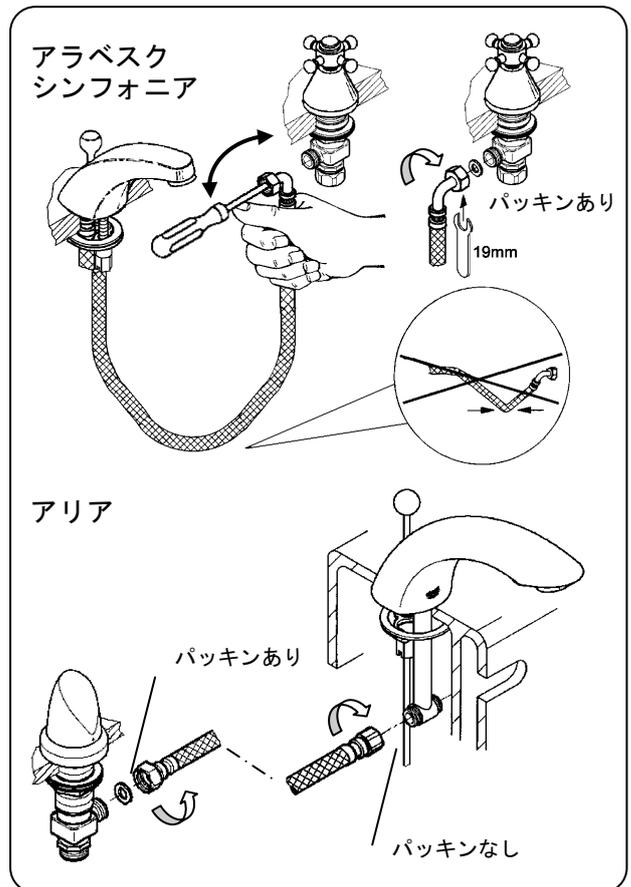


図5

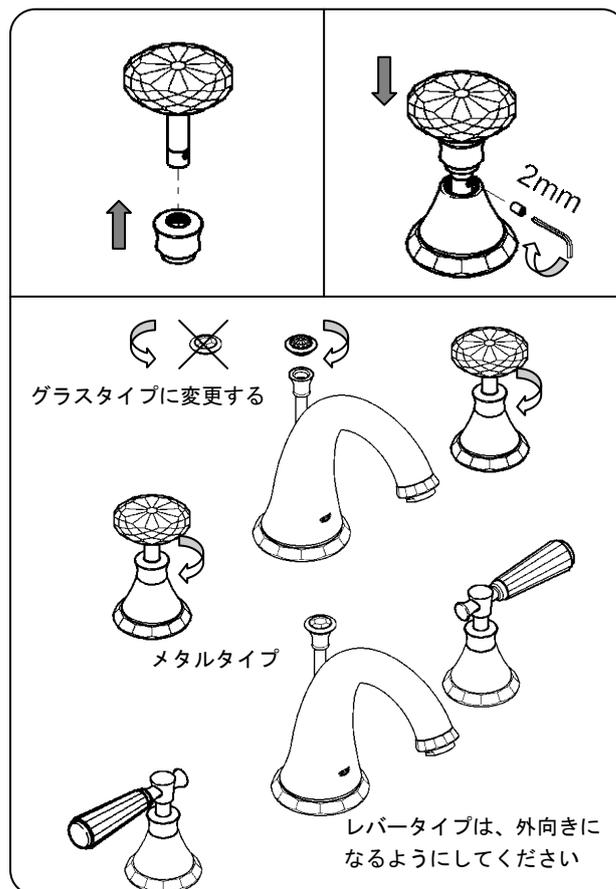


ケンジントン

3. ハンドルの取り付け (図 19 参照)

- ①バルブのスピンドルを手で回し閉栓の状態にしてください。
- ②ハンドルの支柱部に化粧リングを手で差し込んでください。
- ③バルブのスピンドルのギザギザに、ハンドル支柱部内側のギザギザを合わせ手で差し込みます。
- ④止ビスを2mm六角レンチで右回しに固定してください。
- ⑤化粧スリーブのネジ部に、化粧リングをゴム手袋など使用して右回しに取り付けてください。
- ⑥引棒ツマミを左回しで取り外し、グラスタイプの引棒ツマミをゴム手袋など使用して右回しに取り付けてください。
※止ビスは小さい部品ですので紛失等、取り扱いには注意してください。
※化粧リングの取り付けは、傷をつけないよう注意してください。
※湯側の閉栓は右回し、水側が左回しで閉栓になります。

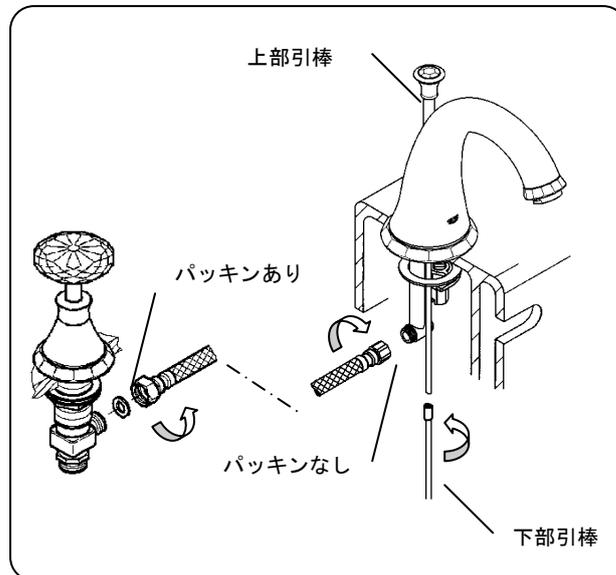
図 19



4. 吐水口とバルブの接続 (図 20 参照)

- ①バルブ横の出口に接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んで、工具 (19mmスパナ) 等で完全に締め付けてください。
- ②吐水口下部の入口に接続ホース袋ナットを工具 (15mmスパナ) 等で完全に締め付けてください。
※接続ホースには湯水の区別はありませんので、よじれやつぶれがでないバルブ側に接続してください。
※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

図 20

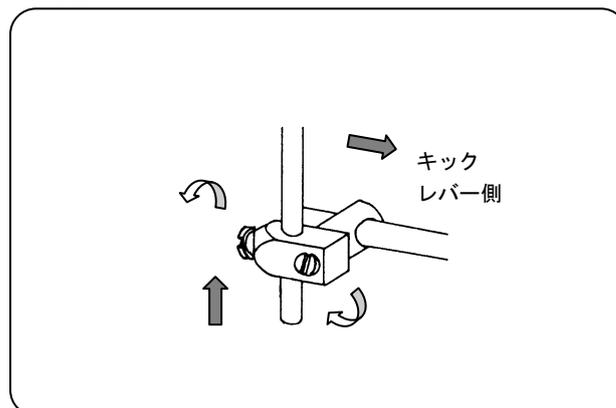


5. 引棒の取り付け (図 20、21 参照)

接続ホース、締付セットに接触していないことを確認してください。

- ①上部引棒を固定し、下部引棒を右回しに取り付けてください。
- ②梱包箱の中からジョイントピースを取り出し、カウンターの下で、下部引棒に差し込、固定ビスで締め付けてください。
- ③別売の排水金具のキックレバーにジョイントピースを差し込み、固定ビスで締め付けてください。
※引棒とキックレバーとの接続は、垂直にクロスしている部分で行ってください。引棒を曲げて接続しますと、操作が重くなり。
※緩まないよう、確実に締め付けてください。

図 21



6. 逆止弁の取り付け (図 22 参照)

7. 給水管の取り付け (図 23 参照)

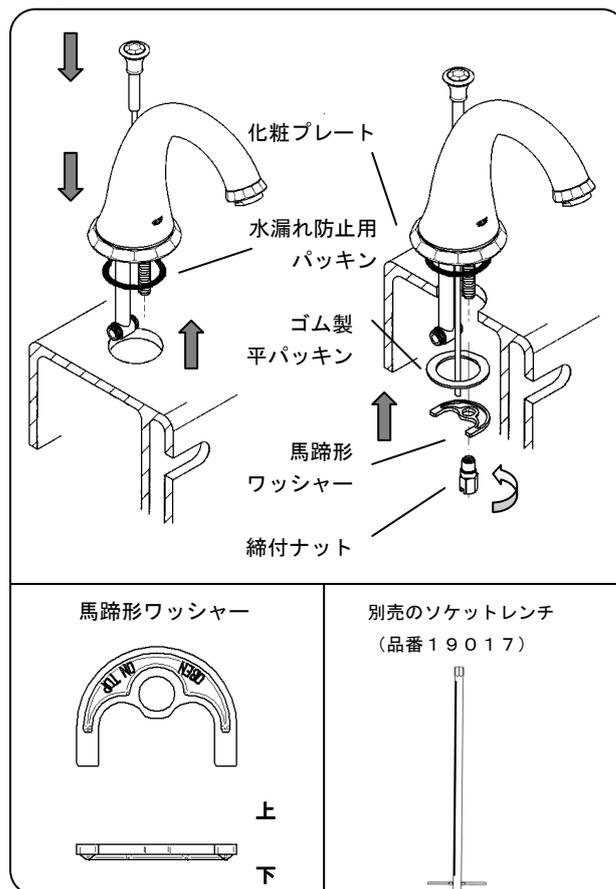
8. 給水管、アダプターの接続 (図 24 参照)

ケンジントン

1. 吐水口の固定 (図 17 参照)

- ①化粧プレートを取り付けてください。
- ②吐水口付属部品を収納している小袋から、水漏れ防止用パッキンを取り出し、吐水口に取り付けてください。
- ③引棒は吐水口の穴に予め差し込んでください。
- ④吐水口をカウンター上部から取り付け穴に挿入します。吐水口が正面に向くように図の通りセットしカウンターうらからゴム製平パッキン、馬蹄形ワッシャーを挿入し、締付ナットで締め付けてください。
 ※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。
 ※接続パイプがつぶれないよう注意してください。
 ※ゴム製平パッキンと馬蹄形ワッシャーがきちんと重なっていること。吐水口を固定する際、取り付け穴が吐水口の中心にくるように取り付けてください。
 ※吐水口が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。
 ※馬蹄形ワッシャーには上下があります。縁どりしてある平らな面が上になります。
 ※固定には別売 (市販品) のソケットレンチ等を使用して確実に締め付けてください。

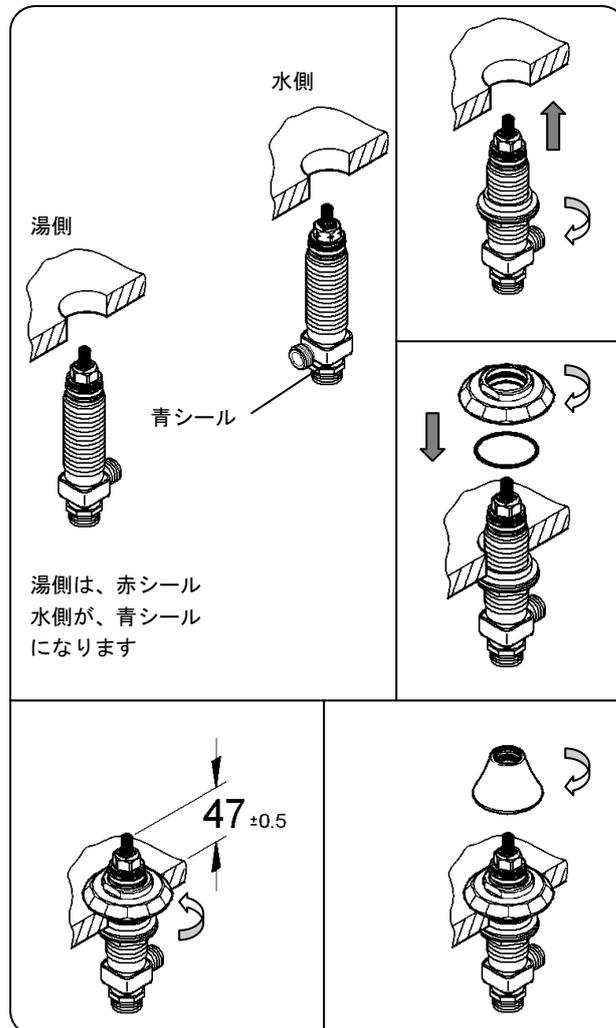
図 17



2. バルブの取り付け (図 18 参照)

- ①湯水バルブは湯、水の区別がありますので、湯側は赤シール、水側は青シールを使用してください。
- ②バルブ付属部品を収納している小袋から、オーリングを取り出し、カウンター上に置きます。
- ③バルブの締付ナットを下向きに最大緩め、ゴム製平パッキン、スリップワッシャーを挿入し、カウンター下部より挿入してください。
- ④化粧フランジを手でカウンター上からバルブにねじ込んでください。
- ⑤化粧フランジを工具 (30mmスパナ) 等で固定し、バルブ横の出口が吐水口側に向く位置で、バルブの締付ナットを工具 (32mmスパナ) 等で締め付けてください。
- ⑥化粧スリーブを手でカウンター上からバルブにねじ込んでください。
- ⑦バルブのスピンドルを手で回し閉栓の状態にしてください。
 ※オーリングが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。
 ※バルブが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直して下さい。
 ※固定には別売 (市販品) の垂直スパナ等を使用して確実に締め付けてください。
 ※湯側の閉栓は右回し、水側が左回しで閉栓になります。

図 18

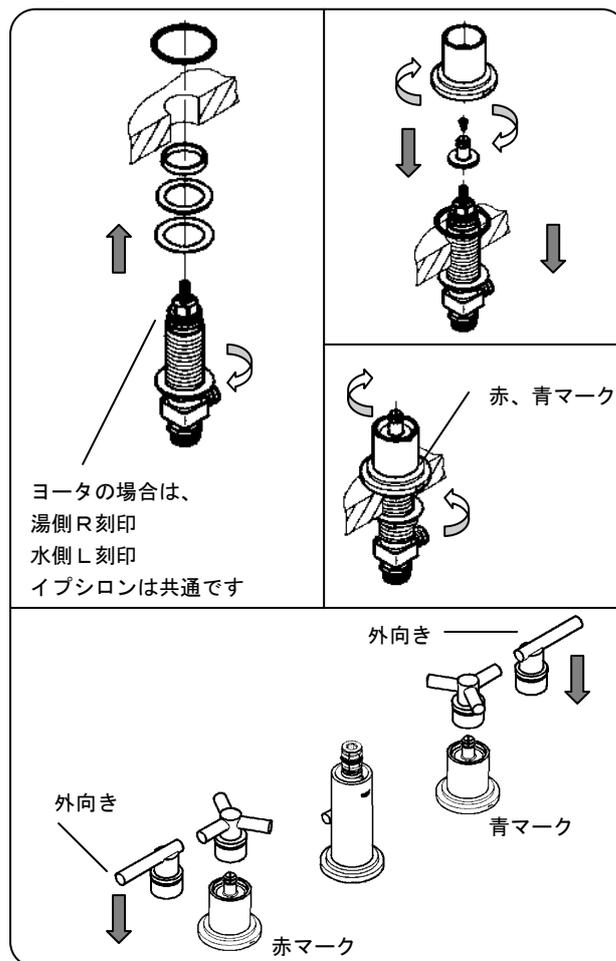


アトリオ

4. バルブの取り付け (図6参照)

- ①バルブ付属部品を収納している小袋から、オーリングを取り出し、カウンター上に置きます。
- ②バルブの締付ナットを下向きに最大緩め、ゴム製平パッキン、スリップワッシャーを挿入し、カウンター下部より挿入してください。
- ③バルブのスピンドルにインサートを差し込み、ビスで固定してください。
- ④化粧フランジとスリーブを手でカウンター上からバルブにねじ込んでください。
- ⑤化粧フランジの赤、青マークを正面にし、尚且つ、バルブ横の出口が吐水口側に向く位置でバルブの締付ナットを工具 (32mmスパナ) 等で締め付けてください。
- ⑥バルブのインサートを手で回し閉栓の状態にします、ハンドル向きを図のようにしてインサートに差し込んでください。
 ※オーリングが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。
 ※バルブが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直して下さい。
 ※固定には別売 (市販品) の垂直スパナ等を使用して確実に締め付けてください。
 ※化粧プレートのマークは正面にくるようにしてください。また、赤を左側、青を右側にしてください。
 ※閉栓は右回しです。ヨータハンドルは水側が左回しで閉栓になります。

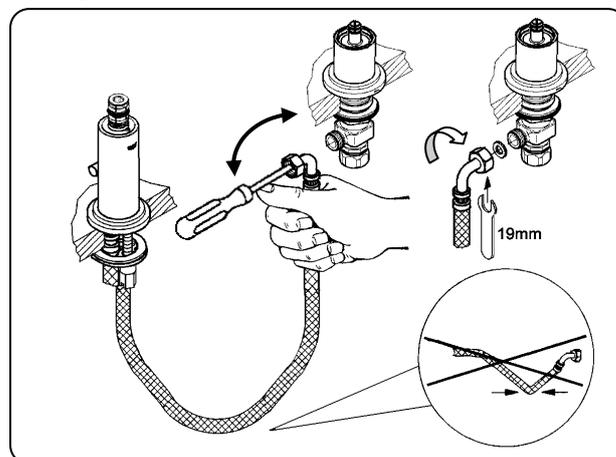
図6



5. 吐水口とバルブの接続 (図7参照)

- ①エルボは回転しますので、接続ホースがよじれやつぶれる前に、エルボの穴にドライバー等を差し込み、手でしっかり持って、向きを調整してください。
- ②接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んでください。
- ③バルブ横の出口に接続ホース袋ナットをねじ込み、エルボ部分を下向きして工具 (19mmスパナ) 等で完全に締め付けてください。
 ※接続ホースには湯水の区別はありませんので、よじれやつぶれがでないバルブ側に接続してください。
 ※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
 ※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

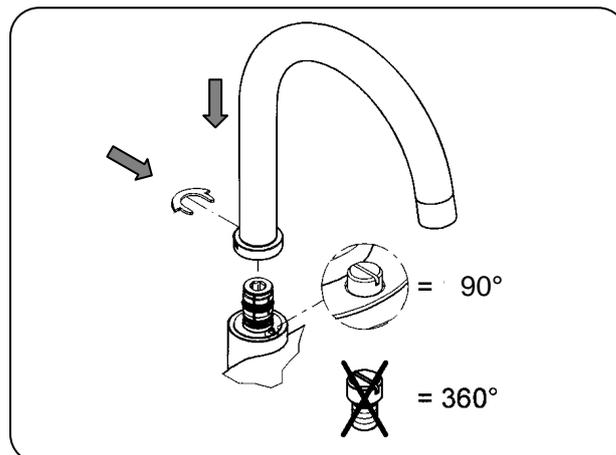
図7



6. 吐水口の取り付け (図8参照)

- ①吐水口取出部のストッパーを必要な回転 (首振り角度 90°、360°) に合わせ、ストッパーを取り外すか選択してください。
- ②吐水口を正面に向け、吐水口取出口に差し込んでください。
- ③吐水口に付属しているクリップを吐水口後部の切り込みに軽く叩きながら完全にはめ込んでください。
 ※吐水口の回転がスムーズであることを確認してください。

図8

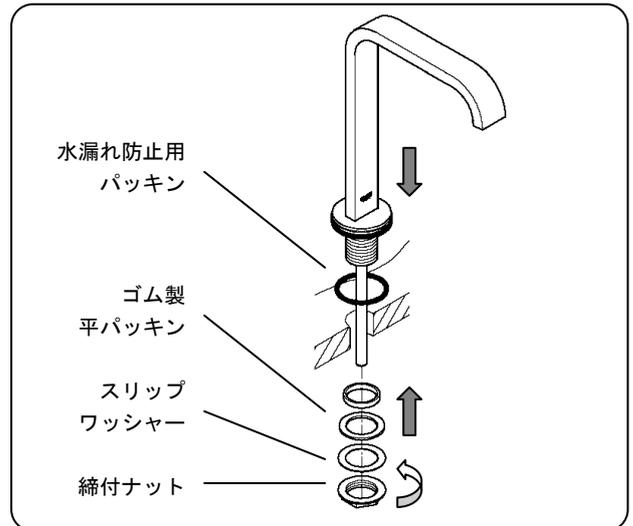


アリュール

1. 吐水口の固定 (図9参照)

- ①吐水口付属部品を収納している小袋から、水漏れ防止用パッキンを取り出し、吐水口に取り付けてください。
- ②吐水口をカウンター上部から取り付け穴に挿入します。吐水口が正面に向くように図の通りセットしカウンターうらからゴム製平パッキン、スリップワッシャーを挿入し、締付ナットを工具（32mmスパナ）等で締め付けてください。
 ※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。
 ※銅パイプがつぶれないよう注意してください。
 ※吐水口を固定する際、取り付け穴が吐水口の中心にくるように取り付けてください。
 ※吐水口が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。
 ※固定には別売（市販品）の垂直スパナ等を使用して確実に締め付けてください。

図9



2. バルブの取り付け (図10~12参照)

- ①バルブ付属部品を収納している小袋から、オーリングを取り出し、上部締付ナットに取り付けてください。
- ②バルブの締付ナットを下向きに最大緩め、ゴム製平パッキン、スリップワッシャーを挿入し、カウンター下部より挿入してください。カウンター下部から挿入してください。
- ③上部締付ナットを手で締め込み、ハンドル装着代（ 57 ± 0.5 mm）をとり、尚且つ出口の向きが施工しやすい位置（水側は正面、湯側は後面）で下部締付ナットを手で締め込み、仮に取り付けてください。
- ④プレート中央の穴を吐水口に通し、吐水口、バルブに差し込みます。
- ⑤プレートが挿入できる位置で、バルブの上部締付ナットを工具（30mmスパナ）等で固定し、カウンター下から、下部締付ナットを工具（32mmスパナ）等で締め付けてください。
 ※オーリングが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。
 ※バルブが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直して下さい。
 ※固定には別売（市販品）の垂直スパナ等を使用して確実に締め付けてください。
 ※プレートは、吐水口にキズがつかないように、気をつけて挿入してください。

図10

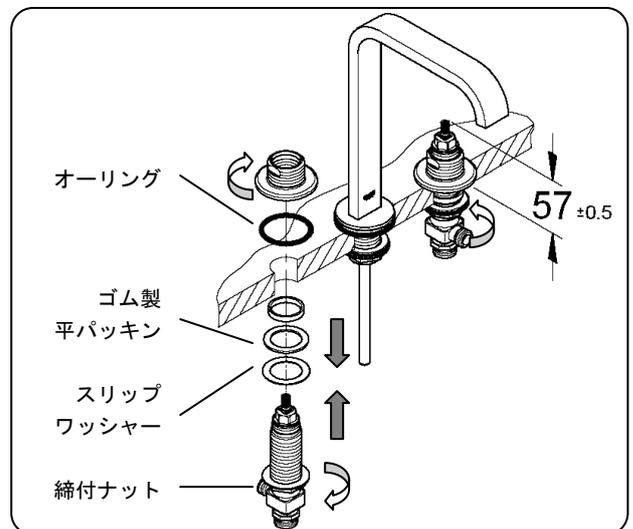


図11

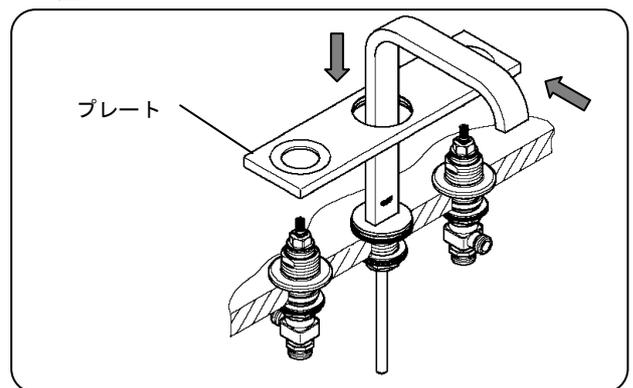
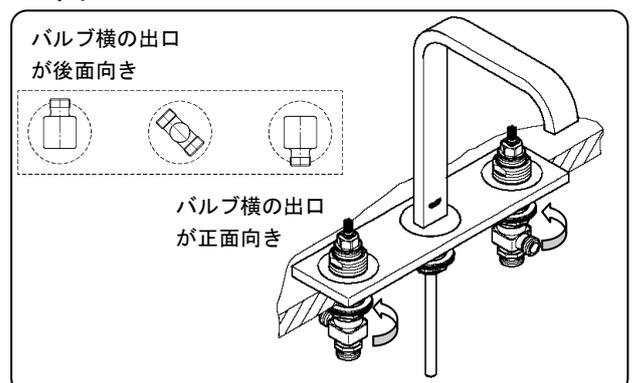


図12



アリュール

3. ハンドルの取り付け (図 13、14 参照)

- ①化粧フランジをバルブに挿入してください。
- ②化粧スリーブを手でバルブにねじ込んでください。
- ③バルブのスピンドルにインサートを差し込み、ビスで固定してください。
- ④バルブのインサートを手で回し閉栓の状態にします、ハンドルの向きを図のようにしてインサートに差し込んでください。
※インサートはプラスチック製ですので、取り扱いには注意してください。

図 13

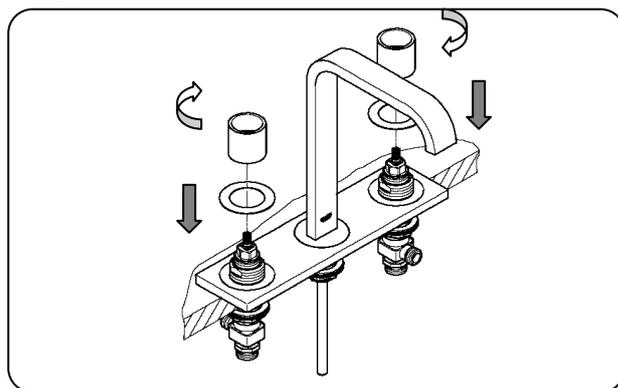
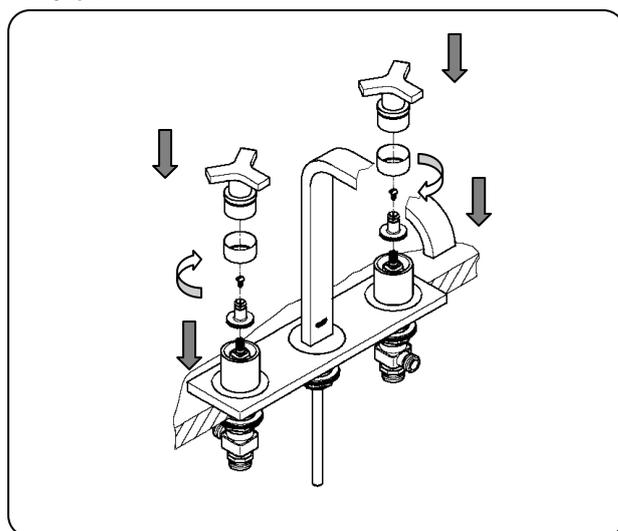


図 14



4. 吐水口とバルブの接続 (図 15、16 参照)

- ①接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んでください。
- ②チーズ両側のねじに接続ホース袋ナットを工具 (19 mm スパナ) 等で完全に締め付けてください。
- ③吐水口銅パイプに付属の定流量弁 (オリフィス) を手で差し込んでください。
- ④チーズのねじに袋ナットを手でねじ込んでください。
- ⑤吐水口銅パイプにチーズの袋ナットを差し込んでください。
- ⑥バルブ横の出口に接続ホース袋ナットを工具 (19 mm スパナ) 等で完全に締め付けてください。
- ⑦チーズの袋ナットを工具 (19 mm スパナ) 等で完全に締め付けてください。
※接続ホースには湯水の区別はありませんので、よじれやつぶれがでないバルブ側に接続してください。
※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
※締め付けは、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締め付けが弱いと漏水の原因になります。
※銅パイプがつぶれないよう注意してください。
※定流量弁 (オリフィス) には方向があります。ツバのある方が下になります。

図 15

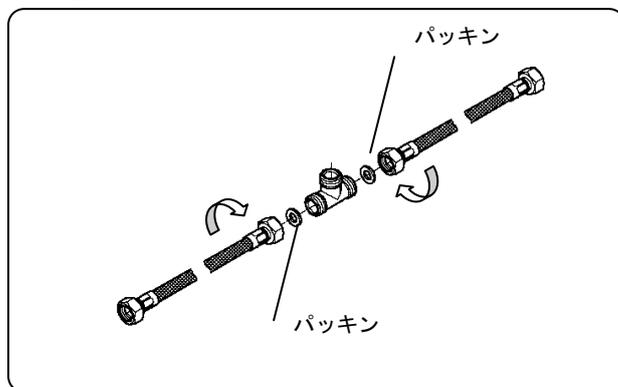
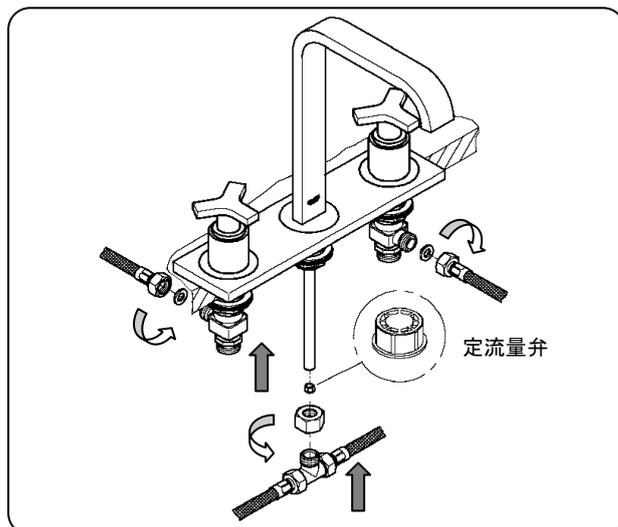


図 16



5. 引棒の取り付け (図 3 参照)

6. 逆止弁の取り付け (図 22 参照)

7. 給水管の取り付け (図 23 参照)

8. 給水管、アダプターの接続 (図 24 参照)